

公益社団法人 私立大学情報教育協会

2021 年度第 1 回

社会福祉学・英語教育・法律学・社会学・教育学・統計学・体育学・  
政治学・国際関係学・コミュニケーション関係学グループ  
分野連携合同会議議事概要

- I. 日時 : 令和 3 年 8 月 12 日 (土) 14:00~16:00  
II. 場所 : ZOOM 会議室  
III. 出席者

角田総括委員長、戸塚委員長・山路委員・森田委員・天野委員(社会福祉学分野)、原田委員・山本委員・五十嵐委員(英語分野)、加賀山委員長・吉野委員・中村委員・高畠委員・村田委員(法律学分野)、土屋委員・犬塚委員・亀井委員(社会学分野)、舟生委員・三尾委員・竹熊委員(教育学分野)、渡辺委員・竹内委員・今泉委員・西川委員(統計学分野)、内山委員・田附委員(体育学分野)、川島委員・清滝委員(政治学分野)、佐渡友委員・柏崎委員(国際関係学分野)、鈴木委員(コミュニケーション関係学分野)、大原アドバイザー(情報専門教育分科会主査)、事務局: 井端事務局長、坂下、中村

IV. 議事の経過

角田総括委員長の挨拶、10 分野の出席委員の紹介の後、角田総括委員長が議長となり、報告事項に入った。

(1) 報告事項

1. 対話集会に向けた準備について

事務局より、資料①の「分野連携対話集会の開催方法・開催時期等について(メモ)」に基き、まず開催方法については、「オンライン方式」による実施としたいこと、その場合の開催時期、配信会場および録画配信について事務局案を説明し出席委員に諮ったところ、賛同が得られた。

また、開催日は、12 月 18 日(土)、配信会場はアルカディア市ヶ谷(私学会館)とし、参加申込者には対話集会の録画映像を終了後 3 日間配信することが確認された。

2. 分野連携対話集会の進め方について

オンライン開催による対話集会の進め方及び対話集会の開催趣旨等について事務局の考えを説明した後、議論を行ったところ、次のように決定した。

① 対話集会の開催趣旨としては以下とした。

「コロナ禍のなか、大学では対面授業と遠隔授業の長所を組み合わせたハイブリッドな授業・学修がニューノーマルな教育として進展しつつあり、これを契機に学修者本位による教育への転換が加速するものと考えられること。対面による学びと、時間・場所を越えたサイバー上の仮想空間の学びを組み合わせることによる、高度な学びを最適化する上で必須の教育のパラダイムシフトと考えられる。学生が主体的に問題発見・解決に関与し、価値創造につないでいくように支援することが教育のデジタルトランスフォーメーション(DX)であり、広い学びの場として、思考・判断を訓練する場を如何にデザインし、学生に提供できるかを探求し、改革行動につなげていく場としたい。」

② 対話集会のねらいとして以下の 4 つを挙げることにした。

- ・地域社会や国連の持続可能な開発目標 (SDGs)などをテーマにした遠隔授業と対面授業を組み合わせた効果的な PBL 授業の工夫と課題、戦略についての研究
- ・ネット上で多分野の知識を組み合わせ、知の創造を訓練する授業モデルの可能性の研究
- ・ハイブリッドな PBL 学修環境としてのプラットフォームに必要な機能と運営支援体制の条件についての整理
- ・ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想のニーズを確認し、学生に点検評価の結果をフィードバックする仕組みの実現可能性についての研究

- ③ 話題提供は、以下のような実践事例や教育改善提案を行うこととした。
- (1) 遠隔授業（オンデマンド型、同時双方向型）導入の効果と課題、学修評価方法の紹介
  - (2) 対面授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型授業の紹介
  - (3) 仮想空間と現実空間を組み合わせた授業モデルの収集
  - (4) ICTを活用したアクティブラーニング（PBL含む）の実施方法と効果・課題、又は授業モデル提案

上述の内容を踏まえ、各分野代表は提出した話題提供案について説明した後、協議検討を行った結果、社会福祉分野、英語教育分野、教育学分野、政治学分野、国際関係学分野と統計学分野の6件を話題提供することとなった。なお、話題提供者は次回合同会議までに話題提供のテーマ名および概要について、よりわかりやすい表現に校正することを確認した。

- ④ 意見交流のテーマについては、以下の4点の方向で検討を進めることが提案された。

- \* 遠隔授業と対面授業を組み合わせた PBL 授業の工夫と課題
- \* 知の創造を目指す分野横断フォーラム型 PBL 実験の成果と課題
- \* PBL 学修環境のプラットフォームに必要な機能と支援体制
- \* ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想の必要性・実現性など

また、意見交流を行うにあたって、参加者には以下のようなアンケートを求めることが提案された。

- \* PBL 授業体験の有無
- \* 遠隔と対面によるハイブリッド型授業のニーズ
- \* ハイブリッド型 PBL 授業の高度化に向けた課題
- \* 学内教員の連携体制と企業・自治体等を巻き込んだ授業環境の仕組み
- \* 思考力等の点検・評価・助言モデルの参照ループリックなど

- ⑤ 次回の合同会議では、主に開催要項の決定を行うこととし、話題提供、アンケート、役割分担などを議論するため10月4日(月)18時にZOOM会議にて開催することとした。